

小学校国語科採点基準

1枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
一	問一	a 詫	語として採点する。	各 2 × 4	19
		b あいはん			
		c 筋			
		d るいじ			
	問二	1 イ	3つとも合っているものだけを正答とする。	3	
		2 ウ			
		3 ア			
問三	一つの言語を習得して身につけることによって、その言語圏の文化の価値体系を身につけ、ものの捉え方の枠組みを与えられているということに、われわれ自身が気づいていないだけではなく、人間という存在にとっての「無意識」の働きも、言語の働きによって方向づけをされているのではないかということ。(140字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8		
二	聞き手に伝わるように、例えば、「はじめ」で、何について話すのかなど、「中」で、どのようなものか、好きになったきっかけや理由など、「おわり」で、聞き手への一言など、話す事柄のくわしい内容や順序を考えて話すこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6		
三	問一	物語や詩のような行動や会話、心情などを基軸に物語る文学的な描写と、人物の生き方や考え方、その偉業などを意味付ける事実の記述や説明の表現の両方が用いられるという特徴。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5	10
	問二	人物の行動や生き方と、自分の経験や考えなどとの共通点や相違点を見付け、共感するところや取り入れたいところなどを中心に考えをまとめさせ、自分の考えを広げたり、深めたりすることにつなげる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5	

小学校社会科採点基準

1枚のうち1

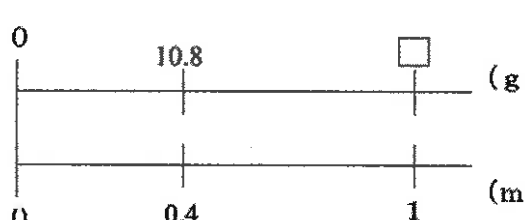
【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点			
1	学習問題の解決に必要な情報を検索し収集することができるため。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 2 × 3	6		
	情報活用能力を育てることができるため。					
	多様な表現方法を身に付け、調べたこと考えたことを分かりやすく伝える発信能力を育てることができるため。					
2	1	ア 公家の寝殿造と武家の禅宗の寺の様式が組み合わされており、2層と3層には金箔がはられている。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 2 × 2	13	
	イ 床に畳を敷いて床の間を設けた書院造が取り入れられている。					
	2	記号	説明	順序は問わない。 記号と説明がともに合っているものだけを正答とする。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。		各 2 × 2
		(イ)	物語などを劇にして、歌や音楽に合わせて、面をつけて舞う芸能。			
	(オ)	墨の濃淡で、自然や人物を象徴的に表現する絵画。				
	3	将軍に仕えるために京都で生活するようになった大名やその家来、旅の僧が往来したり、応仁の乱などの戦乱により、多くの公家や文化人が地方の戦国大名を頼って都から下ったりしたことにより、京都の文化を地方に広める役割を果たすこととなったため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5		
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々による避難訓練の実施</li> <li>・水防団による危険箇所の見回りや点検</li> <li>・ハザードマップの作成</li> <li>・避難場所の確保</li> <li>・がけ崩れの防止や河川の改修</li> <li>・水防倉庫の設置</li> </ul>	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 2	6		

小学校算数科採点基準

1枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点
1	ア 第4学年 イ 第1学年 ウ 第6学年		各 2 × 3  6
2	$\frac{4}{9}$		5
3	<p>頂点Bから直線ℓに垂線をひき、直線ℓとの交点をDとする。</p> <p>三角形ABCの面積から線分BDの長さを求める。                      三角形ABCの面積は、  <math>3 \times 4 \div 2 = 6</math></p> <p>BD=xとすると、  <math>5 \times x \div 2 = 6</math>  <math>x = \frac{12}{5}</math></p> <p>よって、BD = <math>\frac{12}{5}</math> [cm]</p> <p>求める立体の体積は、  <math>\frac{1}{3} \times \frac{12}{5} \times \frac{12}{5} \times \pi \times AD + \frac{1}{3} \times \frac{12}{5} \times \frac{12}{5} \times \pi \times CD</math>  <math>= \frac{1}{3} \times \frac{12}{5} \times \frac{12}{5} \times \pi \times (AD + CD)</math>  <math>= \frac{1}{3} \times \frac{12}{5} \times \frac{12}{5} \times \pi \times AC</math>  <math>= \frac{1}{3} \times \frac{12}{5} \times \frac{12}{5} \times \pi \times 5</math>  <math>= \frac{48}{5} \pi</math></p> <p>したがって、求める体積は <math>\frac{48}{5} \pi \text{ cm}^3</math></p>	<p>内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p>	1 2
4	<p>除数が1より大きいときのわり算で学習したことを基に、次のような数直線を用いて、除数、被除数と商の大きさの関係をとらえさせ、除数が1より小さいとき、商が被除数よりも大きくなる理由について説明させる学習活動。</p> 	<p>問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。</p>	1 2

小学校理科採点基準

1枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	ア	第4学年			各 2 × 4	8
	イ	第6学年				
	ウ	第3学年				
	エ	第5学年				
2	1	(ア)	実験をする前の日の午後から、3枚のジャガイモの葉にアルミニウム箔で覆いをし、日光に当てないようにする。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 2	9
		(イ)	残り2枚のうち、1枚の葉のアルミニウム箔を外し、日光に当て、もう1枚の葉の覆いはそのままにしておき、日光に当てないようにしておく。			
	2	学習した自然の事物・現象の性質や働きなどが、実際の自然の中で、成り立っていることに気付かせるため、ジャガイモ以外の身近な植物でも、葉に日光が当たるとでんぷんができることを確かめる学習活動。				
3	方法	理由		方法と理由が対応しているものだけを、正答とする。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2	8
	水溶液の水を蒸発させる	水の量を増やすと溶けるミョウバンの量が増えるので、水を蒸発させて水の量を減らすと、溶けるミョウバンの量も減ることから、溶けきれなくなったミョウバンを取り出すことができるため。				
	水溶液を氷水で冷やす	水の温度を上げると溶けるミョウバンの量が増えるので、水溶液を氷水で冷やして水の温度を下げると、溶けるミョウバンの量も減ることから、溶けきれなくなったミョウバンを取り出すことができるため。				

小学校生活科採点基準

1枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	自分にとって興味・関心があり、価値があると感じられる学習活動を自ら進んで行うことができるということであり、自分の思いや考えなどを適切な方法で表現できるという学習上の自立。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 2 × 3	6
	生活上必要な習慣や技能を身に付けて、身近な人々、社会及び自然と適切にかかわることができるようになり、自らよりよい生活を創り出していくことができるという生活上の自立。			
	自分のよさや可能性に気付き、意欲や自信をもつことによって、現在及び将来における自分自身の在り方に夢や希望をもち、前向きに生活していくことができるという精神的な自立。			
2	1 図書館には、多くの様々な人々が利用できる様々な種類の本など、みんなで使うものがあり、貸し出しや検索を行う職員や読み聞かせをしてくれる人など、図書館を支えている人がいること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5	10
	2 図書館を利用した体験などをもとに、授業の中で図書館の使い方を紹介する新聞を作成し、実際に、図書館で利用者に伝えるなど、児童の側から主体的に働きかける学習の場面を設定すること。			

小学校音楽科採点基準

1枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1 ※ 別紙 (計1枚)		2	10
	2 1分間に ♩ を84打つ速さで。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	2	
	3 はっきりした発音で歌詞を読むこと、ていねいに歌詞を読むこと、母音、子音、濁音、鼻濁音などをきれいに発音することができるよう指導すること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲に合わせて体を動かす活動。</li> <li>・ 曲想の異なる楽曲を聴き比べる活動。</li> <li>・ 楽曲の中の対照的な部分を聴き比べる活動。</li> </ul>	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 2	6

1

1

著作権の保護の観点により、掲載いたしません。

小学校図画工作科採点基準

1枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が材料から豊かに発想できるようにするために、いろいろな形や大きさ、太さの枝を準備すること。</li> <li>・児童が材料から豊かに発想できるようにするために、十分な量の枝を準備すること。</li> </ul>	1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	2	8
	2	あらかじめグループでつくるものを決めて分担をするのではなく、材料とかかわる中から生まれた一人一人の気付きやイメージなどを基に、児童が自然に発想を交換したり、話し合ったりする。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6	
2		次の点に留意して描いていること。 ○ 出題の意図を明確に表現していること。 ○ 形の特徴をとらえていること。 ○ 画面の構成を工夫していること。 ○ 丁寧に描いていること。		各 2 × 4	8



小学校家庭科採点基準

1枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	生涯にわたって健康で安全な食生活を送るための基礎となる力を養い、日常生活の中で主体的に活用できるようにすること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	4	8
	2	だいこんとねぎには主にビタミンが多く含まれ、主に体の調子を整えるものになる。油あげには主にたんぱく質が多く含まれ、みそと同様に主に体をつくるものになる。これらを、主に炭水化物を多く含み、主にエネルギーのものになるご飯と組み合わせることで、栄養のバランスのよい食事になるため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	4	
2	計画する	整理・整頓されていない工具箱について、整理・整頓が必要な所を見付けさせ、どのように整理・整頓するかを考えさせる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 2 × 4	8
	分類する	必要な物と必要でない物、よく使う物とあまり使わない物などの視点で、分類させる。			
	置き場所を決める	使用目的や頻度、大きさや形などの視点で、物をどこにどのように置くと使いやすいかを考えさせる。			
	振り返る	実際に、整理・整頓をして、使いやすくなったかを確認させ、気付いたことなどをまとめさせるとともに、これからの生活にどのように生かすか考えさせる。			

小学校体育科採点基準

1枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームのプレーヤーの人数を変えてもよい。</li> <li>・ボールをキャッチしてもよい。</li> <li>・ボールをワンバウンドさせてもよい。</li> <li>・ボールを操作する回数を増やしてもよい。</li> <li>・相手コートへの返球時にボールを持って相手コートに投げ入れてもよい。</li> <li>・サービスは自陣のコート（中央付近）から相手コートに向け、下から投げ入れてもよい。</li> <li>・サービスが自分のチームに移ってきても、ポジションの移動はしなくてもよい。</li> </ul>	<p>4つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p>	各 2 × 4	8
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰の位置を高く保ちながら踏み出した足と同じ側の手をマットに着くこと。</li> <li>・踏み切りを強くして、踏み出した足とは逆の足を勢よく振り上げること。</li> <li>・後から着いた手でマットを突き放し、片足ずつ着地させること。</li> <li>・手足を一直線上に着くこと。</li> </ul>	<p>2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p>	各 4 × 2	8